



こんにちは 府会議員

さこ祐仁 活動報告

2008年5月11日発行 No.59

千本出水下る十四軒町392

さこ祐仁事務所

TEL075-813-2117

ワーキングプア、後期高齢者医療制度…ひろがる格差と貧困にストップを。総選挙での日本共産党の前進で、自民・公明政治に審判をくだしましょう。

4月25日・室町支部主催の「消費税増税を考えるつどい」に19人が参加しました。

「社会保障財源の毎年自然増分を2200億円も削りながら、年金財源が不足するといって消費税を増税しようとするのが自民党、公明党の福田内閣です。年金の国庫負担分を3分の1を2分の1にする財源をつくる

といつて、定率減税を廃止し、年金控除や年齢者控除、非課税最低限を縮小・廃止して2・7兆円も国民に負担を増やしたのに、わずか4千億円しか財源になっていません。他のお金(2・3兆円)はどこに消えたのか、その責任もあいまいにして消費税増税で財源に使用とは虫が良すぎます。しかもこれまで集めた消費税は188兆円。一方で、大企業に集めた消費税は159兆円も減税です。大企業

業はバブル期の倍以上の利益がありながら納めた税金は減っています」などお話しすると、次々に怒りの声があ

「聞けばきくほど頭にくる」、「そんな政治はやめてくれ! 共産党頑張って何とかしてくれ」、「総選挙で共産党を伸ばさんとあかん。小選挙区で繊維産業を救おうとしないあの自民党の幹事長には、こくたさんは絶対勝つてもらわんと」と、ひときわ大きな応援の声もありました。



写真(上) 正親のつどいで記念撮影。

4月26日は中立・滋野で、5月2日は正親で「後期高齢者医療制度を考えるつどい」を開催しました。くらの市会議員とわたしで

制度の内容や医療費削減のねらいや「なぜ、こういう制度をつくってきたのか?」とアメリカや日本の大企業の要求などと重ね合わせ、お話しすると、みなさんがそこからの打開、日本改革の展望を理解してくれました。京都府議会での共産党の果たした役割や、知事与党の自民、公明と民主党がそれぞれの思惑で統一した行動がとれずにきたことなど、興味深く聞いてくれます。知事選挙も2年後に迫っています。私たちの暮らしや営業を壊してきた構造改革の政治を転換するチャンスです。いまから府政について各地域で知っていくことが大事ですね。



写真(右) 5月1日メーデーでのデモ行進のひとコマ。

◎さこ駆け歩き

5月1日のメーデーにむけ、4月26日に全西陣織物労働組合のメーデー前夜祭が行われ、私も参加しました。今では、前夜祭を行う労組も数少なくなっているのではないのでしょうか。西陣の地で生まれた日本共産党と共にたたかう、その伝統を脈々と引き継いでいる全西陣織物労組、ばんざい!

5月の連休は次男、三男のバスケットの試合をそれぞれ観戦しました。結果は両方とも残念でしたが、二人の成長を見ることができて連れ合いと喜んでいました。次男はこの試合が最後だったのでご苦労様。さあ受験ですね。三男は夏へ向けてもうひと頑張り。それぞれの成長を期待している父です。



写真(上) 全西労メーデー前夜祭であいさつ。